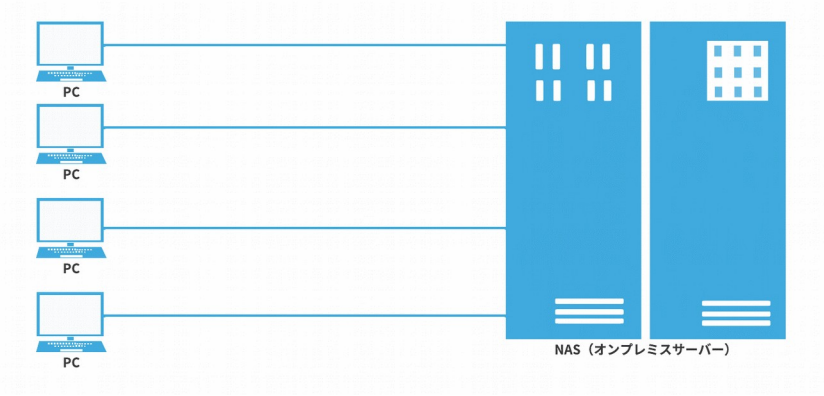
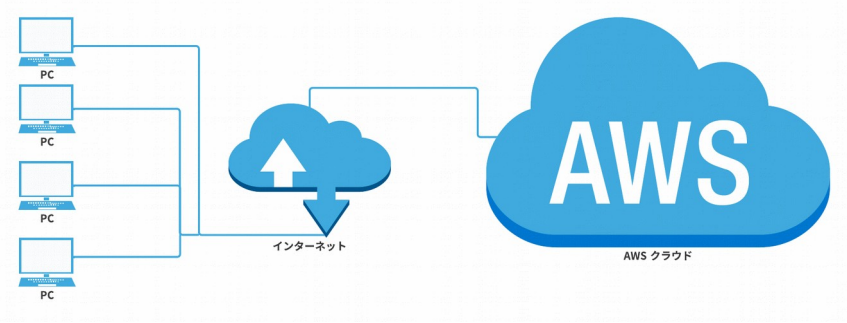
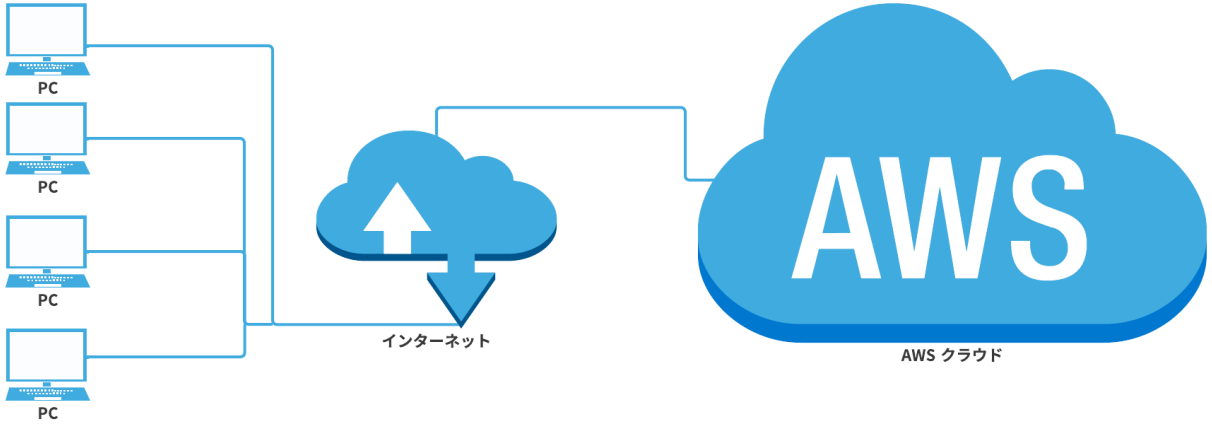
NAS（オンプレミスサーバー）とクラウドストレージ



or



クラウドストレージ

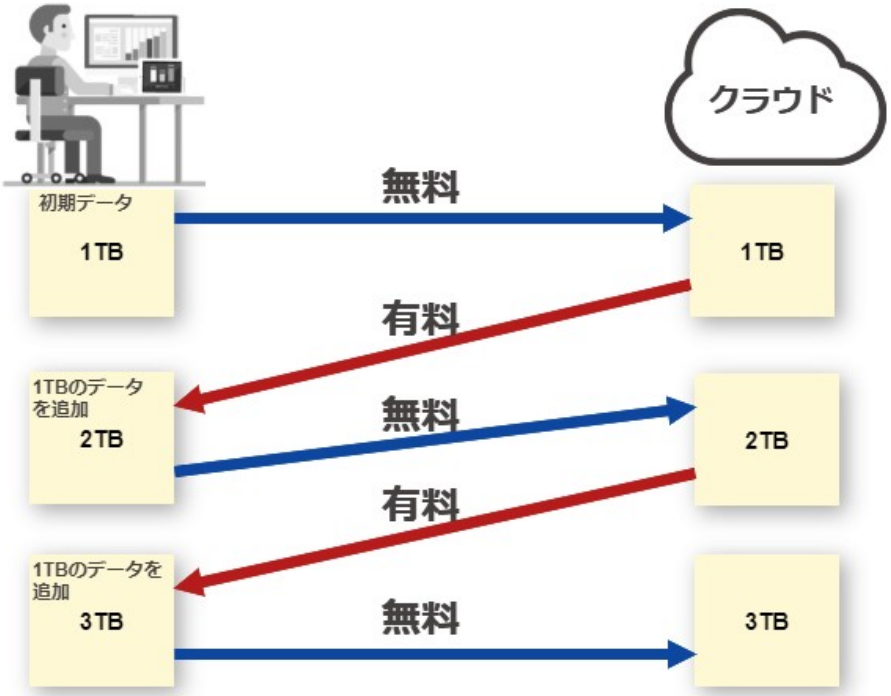


クラウドストレージのメリット

- 非常に強固なBCP（事業継続）対策（EX　AWS S3は99.999999999%の耐久性 ）
- アクセスの場所を選ばない
- 初期費用を抑えられる

クラウドストレージのデメリット

- データ保管量だけでなくデータを転送料金がかかる（データ転送料金は保管料にくらべ高額）
- アクセス速度はインターネット回線の速度に依存（場合によっては非常に低速）
- 構築、運用には専任エンジニアの雇用かサービス業者に依頼する必要



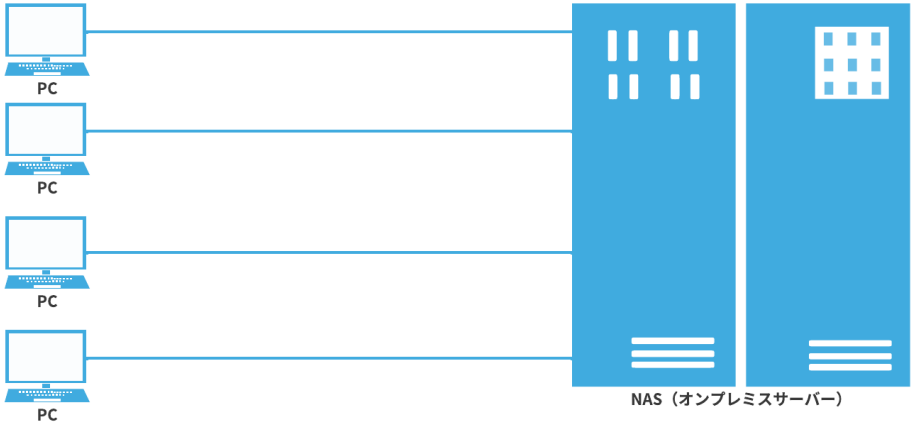
クラウドストレージデータ転送料金イメージ

S3（標準）で1TBのデータを読みに行くと約13,000円、1TBの保管料は約3000円/月

S3 Glacier Deep Archive なら保管料は約110円/月（ただし、180日の最低保管期間あり。取り出しには2日～3日程度かかる。）

日常業務に使用するファイルはS3が必要ながらとりあえず普段は必要ないが保管しておかなければならないデータならS3 Glacier Deep Archiveがお勧め。

NAS（オンプレミスサーバー）

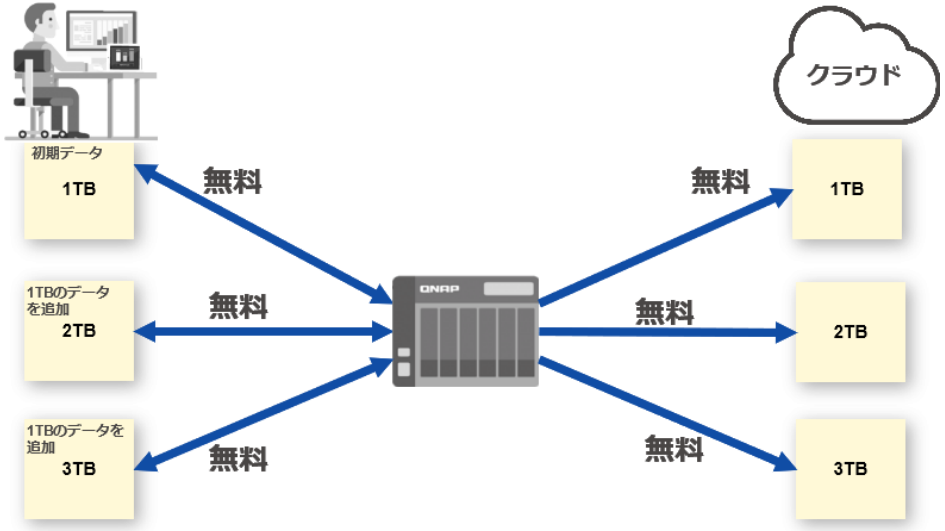


NAS（オンプレミスサーバー）のメリット

- ランニングコストが安い
- アクセス速度が安定して高速化できる
- 一度設置設定してしまえば基本的に専門知識が不要（業者にスポット依頼で十分対応可能）

NAS（オンプレミスサーバー）のデメリット

- データのRAID化、電源の冗長化をしてもBCP（事業継続）対策としては不十分
- アクセスは基本的に事業所内に限定
- 容量が多い場合は初期費用が高額になり勝ち

次回予告

オンプレミスとクラウドストレージの良いとこ取りシステムの紹介